## ◆乾燥性

| | 温　　度 | 10℃ | 23℃ | 30℃ |
|---|---|---|---|---|
| 水性フロアー | 上塗り可能時間 | 5～48時間 | 2～48時間 | 2～48時間 |
| | 歩行可能時間 | 18時間以上 | 12時間以上 | 8時間以上 |
| ハイフローン | 上塗り可能時間 | 4～48時間 | 2～48時間 | 2～48時間 |
| | 歩行可能時間 | 16時間以上 | 12時間以上 | 8時間以上 |

※ 乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意下さい。

## ◆性状・物性

| 試験項目 | 試験結果 水性フロアー | 試験結果 ハイフローン | 試験条件 |
|---|---|---|---|
| 外　　観 | 着色粘稠液 | 着色粘稠液 | |
| 粘　　度 | 8,000mPa·s | 2,400mPa·s | B型粘度計　23℃ |
| 引っかき硬度 | HB | H | JIS K 5600鉛筆法 |
| 摩耗質量 | 100mg | 170mg | JIS K 7204 テーバー式摩耗試験機 9.8N　回転数1000回 |
| 鏡面光沢度 | 80 | 68 | JIS K 5600入射角60度 |
| 耐候性 | 異常なし | 異常なし | ウェザーメーター300時間 |
| ホルムアルデヒド放散等級 | F★★★★ | F★★★★ | JIS K 5601-4-1 |

## ◆耐薬品性・耐油性

| 試験項目 | 結果 水性フロアー | 結果 ハイフローン | 試験条件 |
|---|---|---|---|
| 耐水性 | ◎ | ◎ | 水道水、一ヶ月浸漬 |
| 耐塩水性 | ◎ | ◎ | 20%塩水、スポット試験48時間 |
| 耐酸性 | ○ | ○ | 10%塩酸、スポット試験48時間 |
| | ○ | ◎ | 10%硫酸、スポット試験48時間 |
| | △ | △ | 10%硝酸、スポット試験48時間 |
| | △ | ○ | 10%酢酸、スポット試験48時間 |
| 耐アルカリ性 | ◎ | ○ | 10%苛性ソーダ、スポット試験48時間 |
| | ◎ | △ | 10%アンモニア、スポット試験48時間 |
| 耐生活材性 | ◎ | ○ | 飽和砂糖水、スポット試験48時間 |
| | ◎ | ○ | 醤油、スポット試験48時間 |
| | ◎ | △ | ソース、スポット試験48時間 |
| 耐油性 | ◎ | ○ | サラダ油、スポット試験48時間 |
| | △ | ○ | 灯油、スポット試験48時間 |
| | △ | ○ | エンジンオイル、スポット試験48時間 |
| | △ | ○ | 切削油、スポット試験48時間 |

※ 判定　◎=異常なし/○=やや艶引け/△=やや膨潤　※ スポット試験は、JIS A 5705に準拠
※ 試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

## ◆色　相　※色相はフローン床材色見本帳をご参照下さい。

**常備色(6色)**

| | | | |
|---|---|---|---|
| A-1 | マスカットグリーン | A-4 | フォックスグレー |
| A-2 | エメラルドグリーン | A-5 | サンドベージュ |
| A-3 | フレッシュグリーン | A-6 | スカーレットブラウン |

**標準色(15色)** ※受注生産

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| B-4 | ムーングレー | B-12 | ライトベージュ | B-20 | ライトグレー | B-24 | ハーベストブラウン |
| B-5 | シルバーグレー | B-15 | キャメルイエロー | B-21 | アーモンドブラウン | B-25 | マリンブルー |
| B-6 | ハンターグリーン | B-16 | チャイナベージュ | B-22 | ミルドグリーン | B-26 | ゴールデンイエロー |
| B-7 | セメントグレー | B-18 | ラインイエロー | B-23 | ウォーターブルー | | |

**指定色**

イエロー・赤系等の明度及び彩度の高い色は、隠ぺい性が低いので上塗り工程1層目に共色(調色品:白=1:1混合品)の塗装をおすすめします。
また、下地の色、凹凸の状況、下地の吸い込み等の条件によっては、上塗り工程が標準塗装回数より多くなる事があります。

同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。
特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げて下さい。

## ◆施工上の注意点(水性フロアー・ハイフローン共通)

1. 事前に下地の砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に取り除き、下地との付着を高めるため、事前にポリッシャー・サンダー・研削機にて下地調整を必ず行って下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。また、刷毛引き仕上げコンクリート面に施工する際は、当社までお問合せ下さい。強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。
2. コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏季3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-520・HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。
3. コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットしてフローンエポパテなどを充填し、亀裂面が平滑になるように研摩して下さい。
4. ご使用になる環境を充分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
5. 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
6. 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
7. ゴム製品などが長時間接触していると、汚染が生じたり塗膜が剥がれることがあります。
8. 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
9. 乾燥時間、乾燥後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

| 10℃以下 乾燥後退 | 15℃～25℃ 最適 | 30℃以上 乾燥促進 |
|---|---|---|
| (密着不良、ひび割れ、カブリ、シワ、軟化等発生) | | (作業性悪化による仕上り不良) |

10. 開封後は速やかに使い切って下さい。
11. 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
12. 直接皮膚に触れないように充分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で充分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
13. 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
14. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。
15. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。
16. 容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産廃処理業者に処理を依頼して下さい。

### <水性フロアー>

1. 下地のアスファルトコンクリート面は充分な転圧と緻密な仕上がりを必要とします。アスファルトコンクリートの脆弱部は完全に除去して下さい。
   新設の場合は2週間以上期間を取り、表層の油分を無くして下さい。
2. 新設アスファルトコンクリートで転圧後すぐに塗装する場合は、フローンオイルクリーナーSPとポリッシャー(またはデッキブラシ)を使って表面の油分を入念に除去、高圧水洗機で丁寧に洗浄、充分に乾燥させた後、研摩機(ライナックス等)のダイヤの刃で研摩、またはポリッシャーとサンドペーパー#40で研摩を行い、充分に清掃して下さい。
   また、1週間以上放置しても表面の油分が充分に消失しない場合も同様に処置して下さい。
3. アスファルトコンクリートの密度により使用量、乾燥時間が変化しますのでご注意下さい。
4. アスファルトコンクリートの骨材の影響でサビが発生する場合があります。水性フロアーを塗装しても、経時でサビが表出する場合がありますので予めご了承下さい。
5. アスファルトコンクリート面には直接、水性フロアーを施工して下さい。
6. カチオン浸透エポプライマーに使用したローラー、はけ等は水性フロアーと共用しないで下さい。他の容器に移す場合はプラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用するとサビが発生する可能性があります。
7. 水性フロアーは、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。

### <ハイフローン>

1. 施工時は、引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分に換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ・手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。

| ハイフローン | 引火性あり | 警　　告 | 有害性あり |
|---|---|---|---|
| | | 1.引火性の液体である。<br>2.有機溶剤中毒の恐れがある。<br>3.健康に有害な物質を含有している。<br>4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 | |

| 業　務　用 | 《注意事項》<br>1.ハイフローンは通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがあります。<br>2.取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。<br>3.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)<br>※詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。<br>※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。 |
|---|---|

●お問い合わせは・・・・・・


東日本塗料株式会社

本　　社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

URL https://www.hnt-net.co.jp



ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得
CATALOG NO.1　'24.11.3000



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。
※本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。


HIGASHI NIPPON PAINT PRODUCTS

F★★★★

# 1液アクリル薄膜床用塗料シリーズ

## 水性フロアー
## ハイフローン

東日本塗料

水性タイプ

水性アクリル薄膜床用塗料

無鉛　防藻・防かび

# 水性フロアー

## 防塵性

に優れ、
コンクリート・モルタルの
劣化や発塵、汚れやホコリの
付着を防ぎます。

## 密着性

に優れています。
コンクリート・モルタル、
アスファルトコンクリート
との密着性に優れています。

## 水性

なので取り扱いやすく、
作業が簡単!乾燥性に
優れています。

### 用　途

①ショッピングセンター、展示場などの
商業施設のアスファルトコンクリート、
コンクリート・モルタル床面
②歩道、遊歩道などの床面

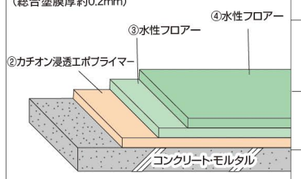
### 容量・塗装面積

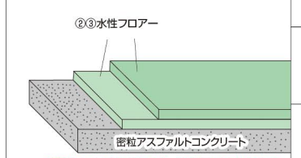
| 品　名 | 容　量 | 標準塗装面積 |
|---|---|---|
| 水性フロアー | 16kg | 0.15～0.3kg/㎡×2回塗りで26～53㎡ |
| | 4kg | 0.15～0.3kg/㎡×2回塗りで6～13㎡ |
| カチオン浸透エポプライマー | 15kg | 0.15kg/㎡×1回塗りで100㎡ |
| | 4kg | 0.15kg/㎡×1回塗りで26㎡ |

※塗装面積は下地状況により異なりますのでご注意下さい。

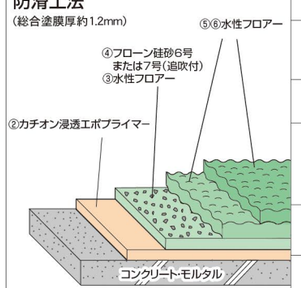
### 標準工法

| | 工　法　名 | 工程 | 材　料　名 | 使用量 (kg/㎡) | 上塗可能時間 (23℃) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) | 1 | 素地調整 | － | － | ※施工上の注意事項をご参照下さい。 |
| | | 2 | カチオン浸透エポプライマー | 0.15 | 2時間～48時間 | 原液のまま、中毛ローラーにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。 |
| | | 3 | 水性フロアー<br>水道水 | 0.15<br>0.045 | 2時間～48時間 | 水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 4 | 水性フロアー<br>水道水 | 0.15<br>0.045 | 12時間以上 (軽歩行開放時間) | |
| 2 | コーティング工法 密粒アスファルトコンクリート面 (総合塗膜厚約0.2mm) | 1 | 素地調整 | － | － | ※施工上の注意事項をご参照下さい。 |
| | | 2 | 水性フロアー<br>水道水 | 0.3<br>0.09 | 4時間～48時間 | 水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 3 | 水性フロアー<br>水道水 | 0.3<br>0.09 | 12時間以上 (軽歩行開放時間) | |
| 3 | 防滑工法 (総合塗膜厚約1.2mm) | 1 | 素地調整 | － | － | ※施工上の注意事項をご参照下さい。 |
| | | 2 | カチオン浸透エポプライマー | 0.15 | 2時間～48時間 | 原液のまま、中毛ローラーにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。 |
| | | 3 | 水性フロアー<br>水道水 | 0.15<br>0.045 | 直後 | 水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 4 | フローン硅砂6号<br>又は7号(追吹付) | 0.3 | 3時間～48時間 | 前工程直後、リシンガン(口径3～4mmφ)にてフローン硅砂6号又は7号を散布。乾燥後、余剰なフローン硅砂を除去。 |
| | | 5 | 水性フロアー<br>水道水 | 0.2<br>0.06 | 2時間～48時間 | 水道水で30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 6 | 水性フロアー<br>水道水 | 0.2<br>0.06 | 12時間以上 (軽歩行開放時間) | |




※下地の表面状態により、使用量が変わります。




※カチオン浸透エポプライマーに使用したローラー、はけ等は水性フロアーと共用しないで下さい。
※アスファルトコンクリートの骨材の影響でサビが発生する場合があります。 水性フロアーを塗装しても、経時でサビが表出する場合がありますので予めご了承下さい。



溶剤タイプ

アクリル薄膜床用塗料

無鉛

# ハイフローン

## きめ細かな防塵塗装で床のすみずみまで美しく快適に

ハイフローンは、1液溶剤型アクリル系の防塵床用塗料です。コンクリート・モルタル面を保護し、
際立った防塵性が得られます。軽作業所や軽歩行通路、倉庫等に最適です。

### 防塵性

コンクリート、モルタルの
劣化や粉塵、外部からの
汚れやホコリを防ぎ快適な
床環境の保全に寄与します。

### 密着性 耐摩耗性

コンクリート、モルタル面と
強力に密着、一体化し
耐摩耗性に優れた
塗膜で保護します。

### 簡単

1液で乾燥が速く
作業性に優れ、補修も
簡単。経済的です。

### 用　途

①工場の原材料置場、軽作業所、出荷場、部品倉庫、製品倉庫などの床
②マンションの開放廊下

### 容量・塗装面積

| 品　名 | 容量 | 標準塗装面積 |
|---|---|---|
| ハイフローン | 15kg | 0.12～0.15kg/㎡×2回塗りで50～63㎡ |
| | 4kg | 0.12～0.15kg/㎡×2回塗りで13～16㎡ |
| ハイフローンプライマー | 15kg | 0.2kg/㎡×1回塗りで75㎡ |
| | 3kg | 0.2kg/㎡×1回塗りで15㎡ |
| ハイフローンシンナー | 16ℓ | 15kgに対して6kg～7.5kg |
| | 4ℓ | 4kgに対して1.6kg～2kg |

※塗装面積は、下地状況により異なりますのでご注意下さい。

### 希釈割合

(希釈は、ハイフローンシンナーをご使用下さい。)

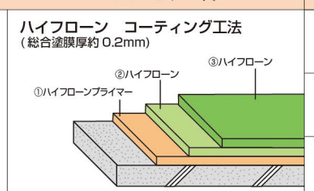
| 品　名 | 使用器具 | 希釈率 |
|---|---|---|
| ハイフローン | 中毛ローラー | 40～50% |
| | はけ | 40～50% |
| | スプレー | 80～100% |
| ハイフローンプライマー | 中毛ローラー | 原液のままご使用下さい。 |

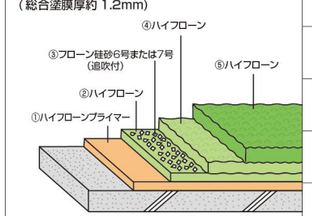
### ● ハイフローンプライマーの性状

| 試験項目 | 試験結果 | 試験条件 |
|---|---|---|
| 粘　度 | 14mPa·s | B型粘度計、23℃ |
| 上塗可能時間 | 2～24時間 | 23℃ |

### 標準工法

| | 工　法　名 | 工程 | 材　料　名 | 使用量 (kg/㎡) | 上塗可能時間 (23℃) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ハイフローン　コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) | 1 | ハイフローンプライマー | 0.2 | 2～24時間 | 原液のまま中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 2 | ハイフローン<br>ハイフローンシンナー | 0.15<br>0.06 | 2～48時間 | ハイフローンシンナーにて40～50%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 3 | ハイフローン<br>ハイフローンシンナー | 0.15<br>0.06 | 12時間以上 (軽歩行開放時間) | ハイフローンシンナーにて40～50%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| 2 | ハイフローン　防滑工法 (総合塗膜厚約1.2mm) | 1 | ハイフローンプライマー | 0.2 | 2～24時間 | 原液のまま中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 2 | ハイフローン<br>ハイフローンシンナー | 0.15<br>0.06 | 直後 | ハイフローンシンナーにて40～50%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 3 | フローン硅砂6号<br>または7号(追吹付) | 0.3 | 12～24時間 | 工程2の直後、リシンガン(口径3～4mmΦ)にてフローン硅砂6号または7号を散布。 |
| | | 4 | ハイフローン<br>ハイフローンシンナー | 0.2<br>0.08 | 2～48時間 | ハイフローンシンナーにて40～50%希釈し、中毛ローラーにて塗布。 |
| | | 5 | ハイフローン<br>ハイフローンシンナー | 0.2<br>0.08 | 12時間以上 (軽歩行開放時間) | |




※ハイフローンシンナーの希釈率は、エアレス塗装、スプレー塗装の場合、80～100%、中毛ローラー、はけの場合は、40～50%です。※緻密なコンクリートの場合は剥離の可能性があるため、フローンエコプラ速乾での密着試験を推奨いたします。